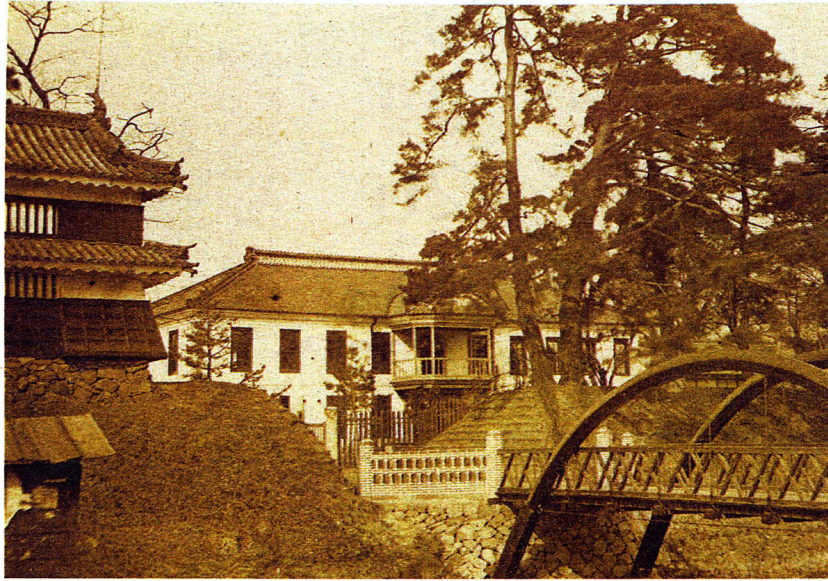


# 謎の南隅櫓 鮮明な写真

かつて松本城(松本市)の二の丸にあった南隅櫓みなみぐまのりゅうが鮮明に写る明治中期の写真が見つかった。同市沢村3の会社員・丸山哲治さん(53)が昨秋、インターネットオークションで入手した。南隅櫓は古絵図などに描かれているが、写真は櫓の端が写っているものくらいで、詳細がよく分からず謎に包まれていた。見つかった写真は櫓の3分の2程度が写り、構造や石垣の形状などがはっきりと分かる。櫓の復元へ重要な資料になりそうだ。

(赤羽洋輔)



丸山さんが入手した写真。左側の土塁の上に建つお城のような建物が南隅櫓

## 松本城 明治期の一枚

### 復元への貴重な資料に

と、南隅櫓は松本中の校舎が増築された明治22(1889)年までに取り壊された可能性が高く、この写真は明治18〜20年の間の撮影とみられる。

格子が入った「武者窓」が入る南隅櫓の写真は貴重で、この写真では建物内から石を落とせる「石落し」の構造、土塁の状況、石垣の重なりなどもはっきりと分かる。市教育委員会は平成11年に、松本城の幕末維新期の姿への復元を目指す「松本城およびその周辺整備計画」を策定している。市が現在進めている「南・西外堀の復元」と共に「南隅櫓の復元」も18の整備項目の一つに掲げられている。

南隅櫓は、現在の松本城公園の大名町側入り口にある電話ボックス付近にあった。丸山さんが入手した写真は二の丸に建てられた旧制松本中学校(現松本深志高校)の校舎を中心に、外堀に架かる木製アーチ橋と南隅櫓が写っている。松本城関連の古写真を収集・調査分析している丸山さんによ

「松本城およびその周辺の整備計画」を策定している。市が現在進めている「南・西外堀の復元」と共に「南隅櫓の復元」も18の整備項目の一つに掲げられている。市文化財審議委員で、元松本城管理事務所研

究専門員の後藤芳孝さん(71)「同市北深志1」は「南隅櫓は、天守を除き最後まで残っていたお城の建物。この写真は、復元にに向けた有力な資料になり得る」と話す。お城を訪れる多くの観光客は南隅櫓があった大名町側を通っており「復元されればランドマーク(象徴的な建物)にもなり、松本城の価値が高まる」とする。丸山さんは二の丸の北西にあった若宮八幡社が写る写真も所有するが、20年前に策定された計画の整備項目には挙げられていない。南・西外堀の整備進展、世界文化遺産登録の動きなど策定当時と情勢が大きく変わっており「松本の文化、観光の中心である松本城の整備計画をアップデート(更新)する必要はある。計画の在り方を市民全体で議論する必要があるのでないか」と投げ掛けている。

南隅櫓があった場所の現在の様子(写真中央の電話ボックス付近)



南隅櫓があった場所の現在の様子(写真中央の電話ボックス付近)

市文化財審議委員で、元松本城管理事務所研